

江原素六 （註） 教育家、政治家。天保十二年一月二十九日武藏國豊多摩郡波橋生れ、大正十一年五月十九日歿（一八四一—一九三二）。幼名鑄二郎、變名小野三介、水野泡三郎、江原三介。號愛山。安政二年昌平坂學問所に入り、また齋藤彌九郎の練兵館で劍術を學んだ。幕末、征長役に従軍。明治元年静岡藩少參事任じ、沼津兵學校の創設に盡力。四年海外視察に赴き、歸朝後は沼津中學校・静岡師範學校校長となる。十一年受洗、キリスト教傳道師として布教に従事。二十二年衆議院議員、東洋英和學校校長のうち、二十八年麻布中學校を創立して終生校長を務めた。大正二年貴族院議員。

著書 『現代名流自傳』（第壹編、南條文雄・井上哲次郎・海老名濯正・前田慧雲合著、江戸肇編、明治四十二年二月十日新八公論社）、（通俗講話） 『浮世の重宝』（大正四年十二月二十日磯部甲陽堂）等。村田勤著『江原素六先生傳』（昭和十年十一月二十五日、新版・十五年十一月二十一日）（二海堂）、辻眞澄著『江原素六』（昭和二十年一月十五日静岡・英又堂書店「駿河新書」）がある。

